

令和4年度第1回広島県県営林管理経営評価委員会における委員の質問・意見（概要）

- 1 日 時 令和4年8月26日（金） 14時00分～16時30分
- 2 場 所 県庁本館4階 海区委員会室
- 3 議 案 第1号議案：令和3年度県営林年度実施計画の達成状況について
第1号議案について審議の結果、令和3年度県営林年度実施計画の達成状況については、原案のとおり承認された。
- 4 委員からの主な質問・意見 （○質問 ●回答 ◎意見）

第1号議案：令和3年度県営林年度実施計画の達成状況について

- ◎ 県営林を管理・経営していくためには、材積を確保することが最も重要ではないかと思っており、ある程度、（計画どおり）材積が確保されていることから、一定の実績は出来ているのではないか。
- ◎ 事業の早期発注については、（国有林でも）業者の方から求められることもあるので、引き続き取り組んで欲しい。
- ◎ 最近、災害に対して意識が高まっているので、間伐をどの程度の本数伐採率とするのか、何かしら基準があった方がよいのではないか。
- 事業量が多い事業体でも、工程別生産性のデータが報告されていないケースがあるようですが、今後、こういったデータも入手できる見込みはあるのでしょうか。
- 事業体によって、日報のつけ方が違ったりして数字が出せないことがあります。今後は、こちらから出向いて調査するなど、協力をお願いしていききたいと思います。
- 全体的な傾向としては、ウッドショックによる価格高騰の影響があって、当初の計画に対して収入の方は増えましたが、そういった状況の変化に伴い、出てきた課題というのは、どのようなものがありますか。
- R3の実績としましては、価格高騰で収益面では上回る側面がありました、一方、そういった盛り上がりの中で、事業体が自社の山を作業することもあり、事業体の確保に非常に苦労した面がありました。
合わせて、先行調査など、予算面での工夫をしておりますが、先行して事業地の確定を行って、当年度に入ったら直ぐに事業発注するといった、事業地の確保・準備が非常に重要になってきています。
経営安定化のためには、価格変動への対策のみならず、事業体・事業地の確保といったところを、引き続き課題として取り組んでいききたいと思います。
- 立木販売の入札については、県内の方々を対象に、入札案内をにかけているのでしょうか、それとも、もっと広く中国地方の方々に対して入札案内をにかけているのでしょうか。
- これまで入札参加された所には事前に通知を出しており、また、県のホームページで公告を出しています。
なお、広島県の木材組合連合会の木材登録をしている業者を入札資格としていますが、

基本的には県内で絞っている訳ではありません。

- ◎ 新規参入事業体の分析・追跡調査をする際には、機械も人も無駄なく動ける現場や体制であるのかといったところも整理して盛り込んで欲しい。
- ◎ 森林の吸収に対するクレジットは、買って頂くことのメリットをうまく PR や工夫していくと、（企業による森林吸収源クレジットの購入を）後押ししてくれることになるのではないかな。